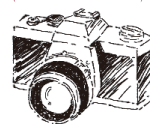


カメラだより

刈谷での出来事を写真付きで紹介します。



投げる・打つ・走る！

小高原小学校（1月23日）



デンソー女子ソフトボール部（デンソーブライトペガサス）の元選手が講師として体育の授業の支援に来てくれました。ボールの投げ方や打ち方を教わり、最後はチームに分かれてゲームを実施。めいっぱいバットを振ってベースに向かって走り、ボールが飛んでくるところを予測してポジションを考える姿も。講師の明るく前向きな声掛けに、児童たちは笑顔を見せ、楽しく授業に取り組みしました。

昔の道具を使ってみよう！

郷土資料館（1月25日）



洗濯板や足踏み脱穀機など、かつて使われていた道具の使い方を刈谷ふるさとガイドボランティアの会に教わりながら、昔の生活や農作業を体験しました。見慣れない道具に興味津々の子どもたちは、使い方や当時の様子を熱心に聞いていました。洗濯板を使う体験では、手洗いで汚れを落とす大変さを痛感し、「電気がない時代は大変だった」「昔の人の知恵はすごい」と話していました。

モノづくり大好き小学生、集合！

産業振興センター（1月31日）



子どもたちが自分のアイデアを形にするロボットコンテスト。約3週間かけて製作したロボットを持ち寄り、作品交流会と表彰式が行われました。参加者は自作のロボットを披露し、他の参加者と構造やアイデアについて話しながら交流を深めました。表彰式では、受賞したロボットの動きを見て「スムーズですごくいい」と感心する姿も。受賞者は「課題をクリアするのが難しかったけど楽しかった」と喜びを口にしました。

響き合う音色、笑顔、伝統

東刈谷小学校（2月3日）



創立50周年を記念した式典の前日、1～3年生向けに前日祭を開催。高学年中心の実行委員会による東刈谷小天才クイズでは、学校の歴史にまつわる問題などで大盛り上がり。創立50周年を記念して児童から歌詞を募った愛唱歌の披露や、東刈谷小伝統の有志による庄巻の和太鼓演奏の後には、1～3年生の和太鼓体験もありました。初めて和太鼓に触れたという1年生は「大きな太鼓を叩けてうれしかった」と笑顔を見せました。